茶病害虫防除情報

【第　11　号】

令和８年 11 月 19 日
県経済連・肥料農薬課

…県内全地域に発生が拡大…

秋期の第４世代チャトゲコナジラミ防除対策

平成 24 年に本県に侵入した害虫チャトゲコナジラミの発生は、県内全ての産地に拡大しており、10 月の県病害虫防除所の現地調査では、平年よりもやや多い発生になっています。地域によってはすす病の発生などの被害もみられますが、全般に発生は天敵シルベストリコバチなどの働きで落ち着いた状況のようです。茶園では現在第３世代成虫の羽化時期が終盤になり、産卵から幼虫ふ化が始まっています。雌成虫誘殺数はこの数年に比較し少ないようですが、発生程度の高い地域もあります。このような状況から、発生の多い園については来年の発生を抑えるためこの最終世代若齢幼虫期(越冬幼虫)の防除が必要と思われます。

☆ チャトゲコナジラミのこれから発生状況

チャトゲコナジラミは、年４～５回発生し、８月頃発生した第３世代幼虫が 10 月上～中旬に羽化し、産卵を始めます。今後 11 月上中旬頃に越冬幼虫となる若齢幼虫が発生します。秋整枝時期などに成虫の羽化・乱舞状況を確認した園、裾部・葉層下部成葉裏に前世代幼虫の寄生が多くみられた園及びすす病の発生が確認される園などは防除対策を準備しましょう。

☆ 防除対策

チャトゲコナジラミの薬剤防除は、虫の薬剤感受性が高いふ化直後から若齢幼虫期が防除適期です。この世代は 10 月下旬から 11 月上中旬、第 3 世代成虫の発生が終息した頃が丁度防除適期になります。発生状況を確認し、発生の多い園では秋整枝後頃を目処に防除を行います。発生が特に多い園では、裾刈りなどを行って薬剤散布を行うと効果的と思われます。薬剤は葉裏にかかるように、400L／10a を丁寧に散布します。この時期は、秋期のハダニなどの防除時期にもなりますので、ハダニ発生の多い園では同時防除できる薬剤で防除するとよいでしょう。

☆ 薬剤防除法

防除時期	農薬名	使用濃度	使用基準	注意事項
10月下～11月上旬	ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞｴｰｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ	1,000倍	14日前 2回	ｻﾋﾞﾀﾞﾆ、ﾖｺﾊﾞｲ同時防除可
	ｱｸﾞﾘﾒｯｸ	1,000倍	7日前 1回	ｻﾋﾞﾀﾞﾆ、ﾖｺﾊﾞｲ同時防除可
	ﾐﾙﾍﾞﾉｯｸ乳剤	1,000倍	7日前 1回	ﾊﾀﾞﾆ同時防除可
	ﾃﾞｨｱﾅSC	2,500～5,000倍	摘採前日 1回	ﾊﾏｷﾑｼ類同時防除可


幼虫寄生葉


新芽に蝟集した羽化成虫


寄生園で発生したすす病